

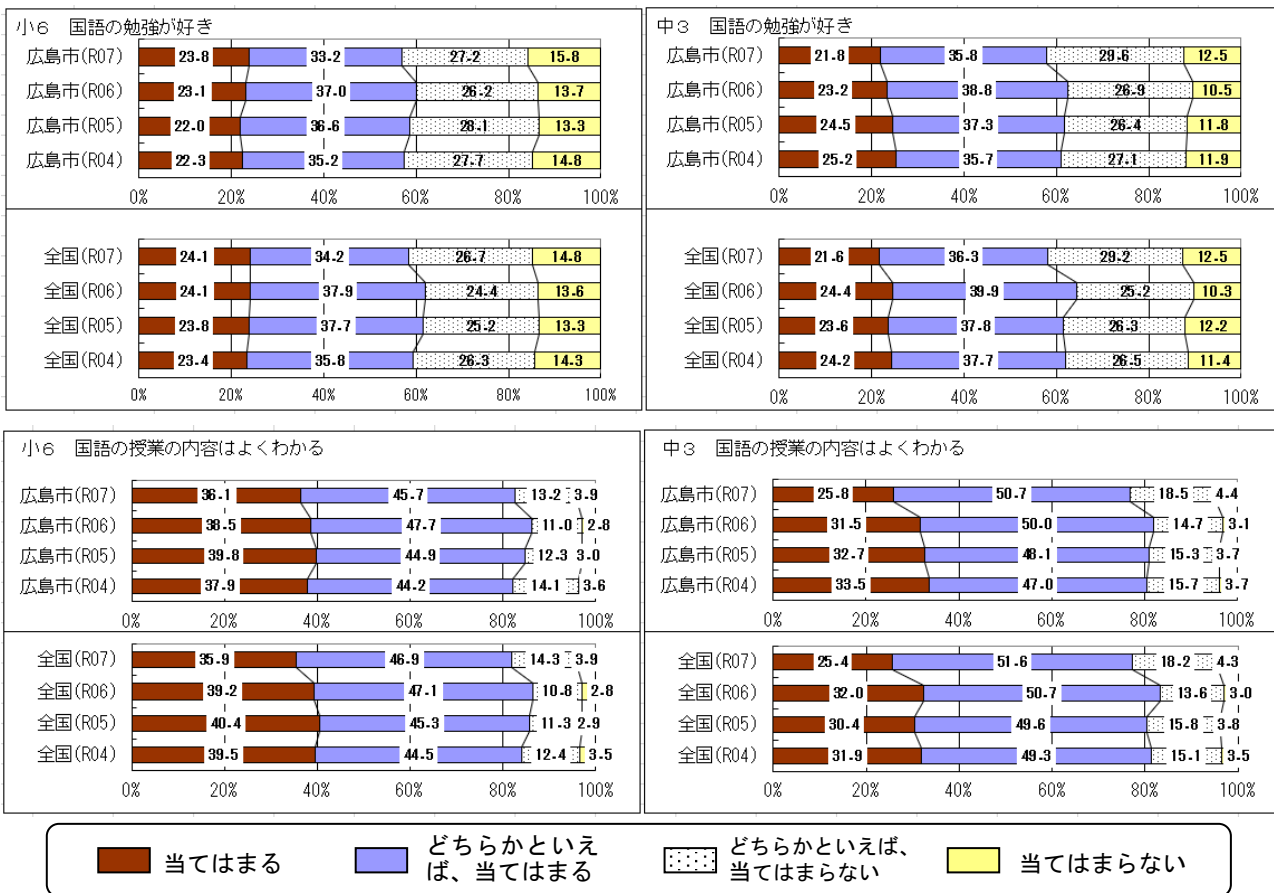
Ⅲ 質問調査の結果と考察

1 児童生徒質問調査

- (1) 学習に対する興味・関心や授業の理解度（国語、算数・数学、理科）
- (2) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- (3) 自尊意識、自己有用感等
- (4) 基本的生活習慣
- (5) 学習習慣
- (6) ICT を活用した学習状況
- (7) 地域や社会への関わり

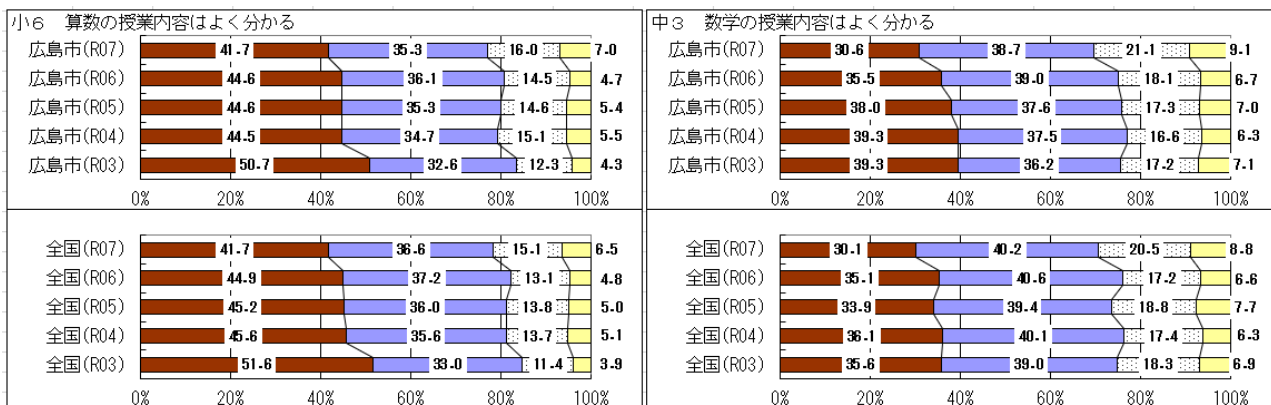
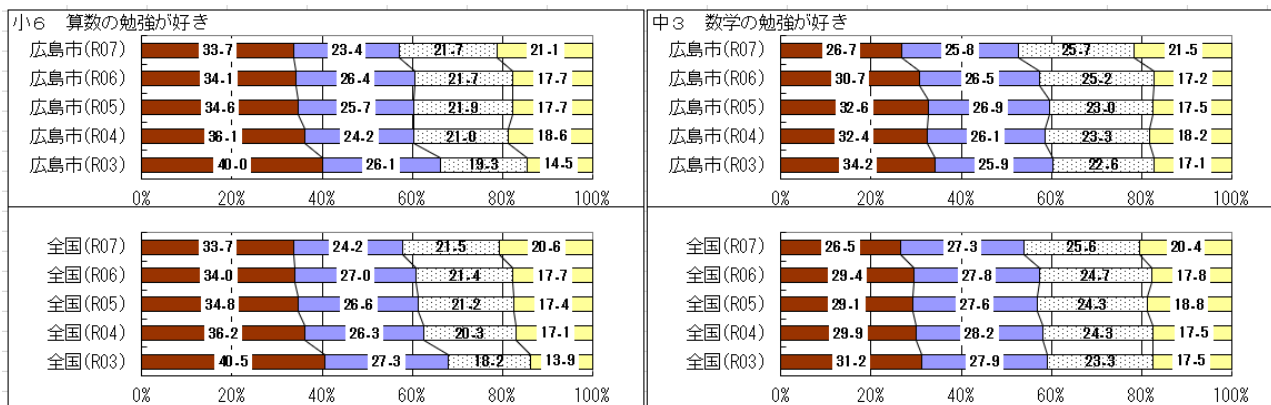
（参考） 国が示した結果チャート

(1) 学習に対する興味・関心や授業の理解度（国語、算数・数学、理科）



- 「国語の勉強が好き」と回答した児童生徒は、小6が57%、中3が約58%であり、全国と比較して小6はやや低く、中3は同程度である。
- 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童生徒は、小6が約82%、中3が約77%であり、全国と比較して小6はやや低く、中3は同程度である。

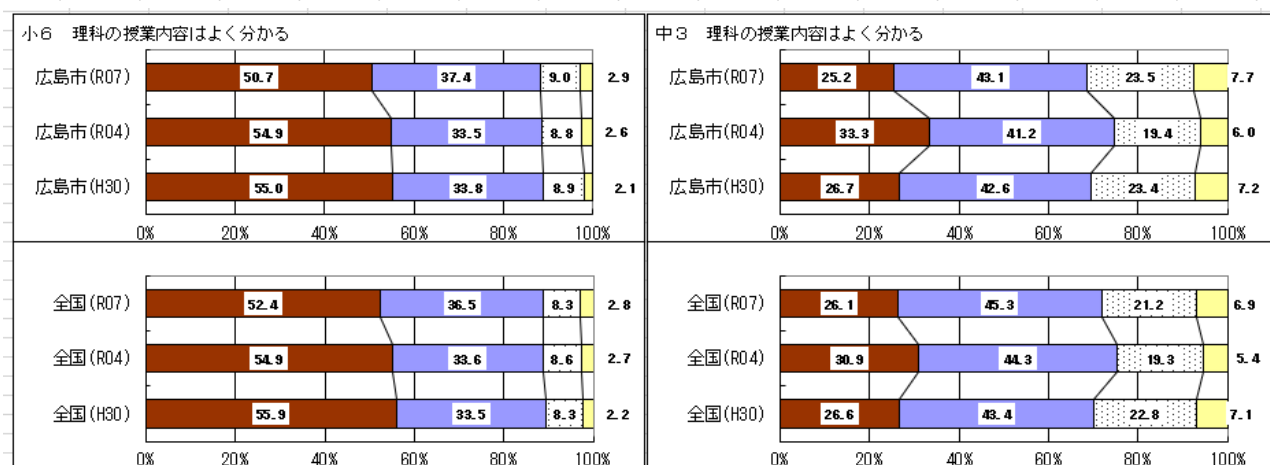
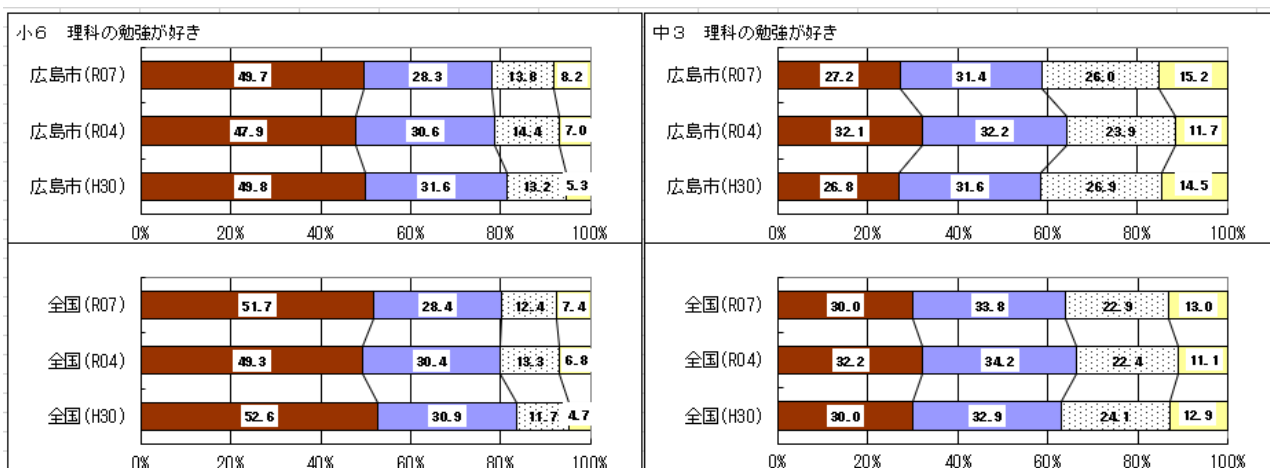
Ⅲ 質問調査の結果と考察（児童生徒質問）



当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

- 「算数・数学の勉強が好き」と回答した児童生徒は、小6が約57%、中3が約53%であり、全国と比較して小6、中3ともにやや低い。
- 「算数・数学の授業内容はよく分かる」と回答した児童生徒は、小6が77%、中3が約69%であり、全国と比較して小6、中3ともにやや低い。

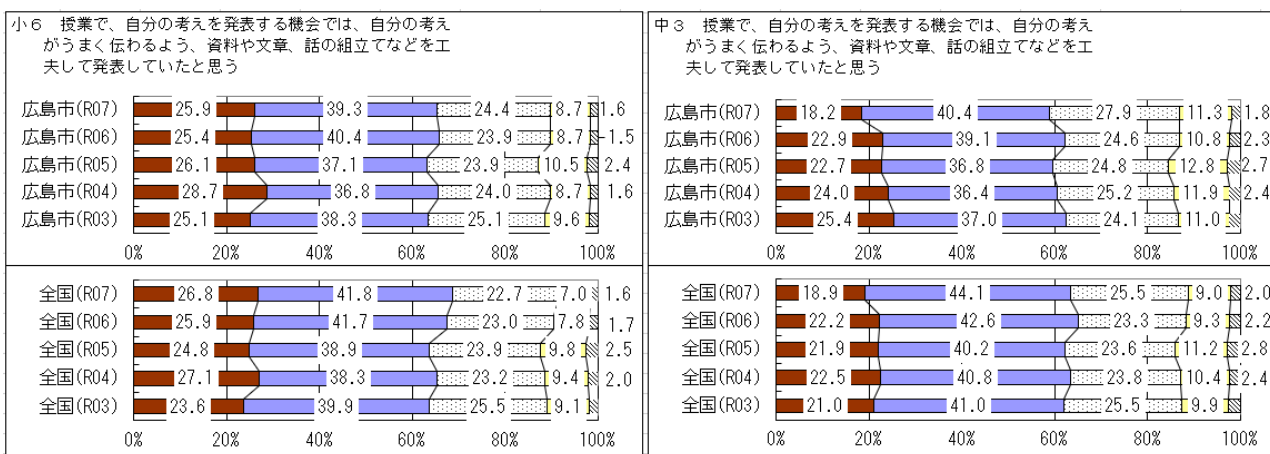
Ⅲ 質問調査の結果と考察（児童生徒質問）



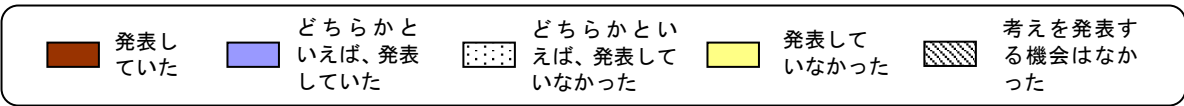
当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

- 「理科の勉強が好き」と回答した児童生徒は、小6が78%、中3が約59%であり、全国と比較して小6はやや低く、中3は低い。
- 「理科の授業内容はよく分かる」と回答した児童生徒は、小6が約88%、中3が約68%であり、全国と比較して小6はやや低く、中3は低い。

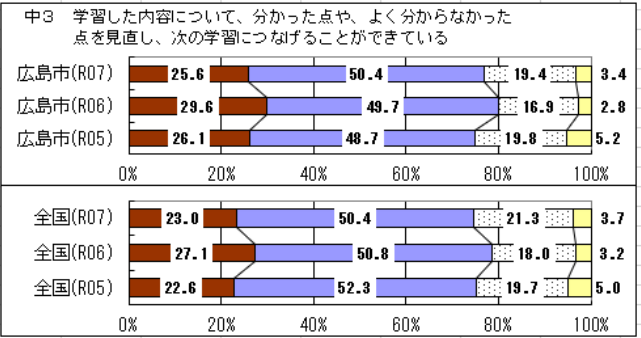
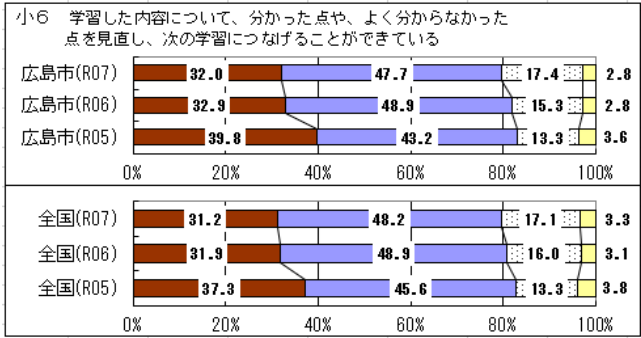
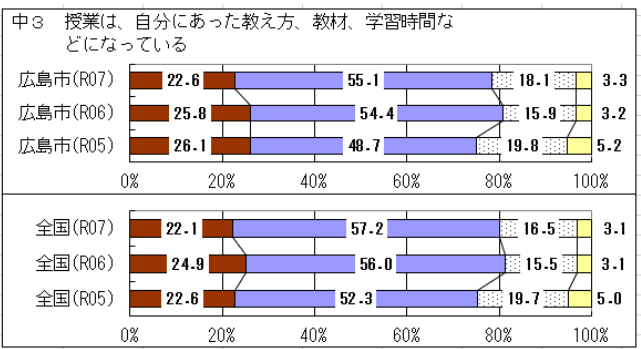
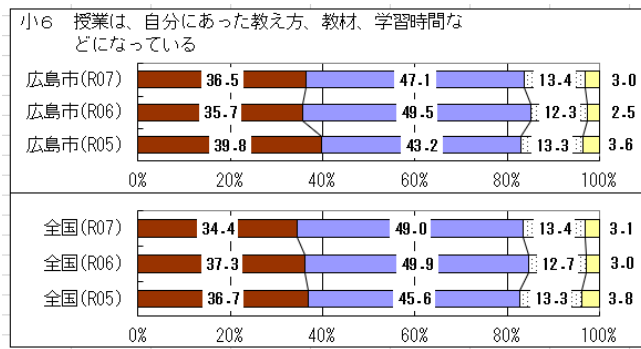
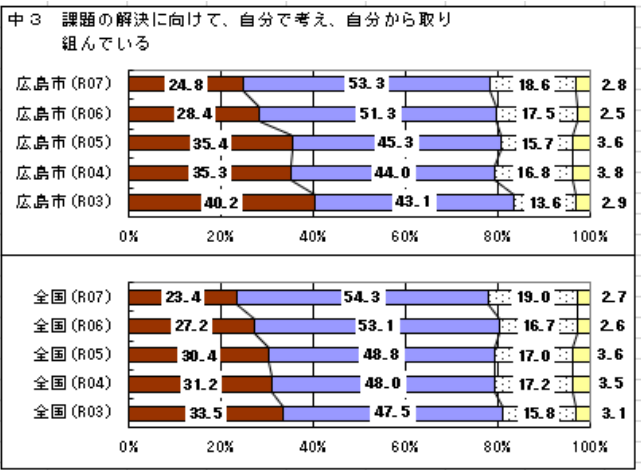
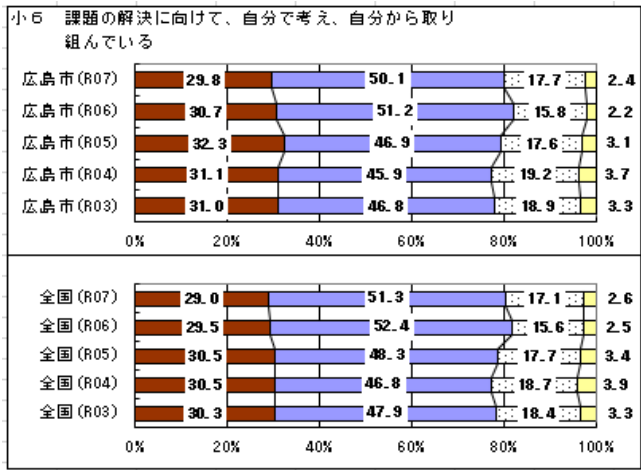
(2) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況



Ⅲ 質問調査の結果と考察（児童生徒質問）



○ 「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う」と回答した児童生徒は、小6が約65%、中3が約59%であり、全国と比較して小6、中3ともに低い。

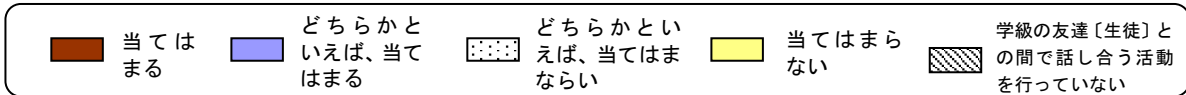
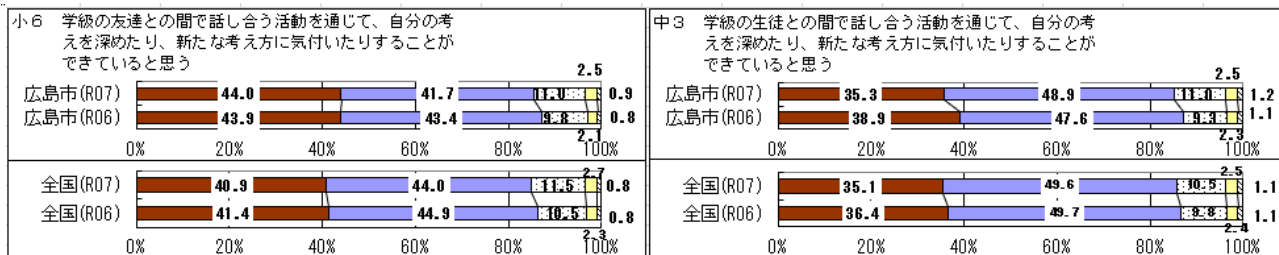


○ 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答した児童生徒は、小6が約80%、中3が約78%であり、全国と比較して小6、中3ともに同程度である。

○ 「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている」と回答した児童生徒は、小6が約84%、中3が約78%であり、全国と比較して小6は同程度、中3はやや低い。

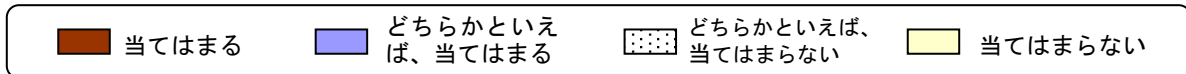
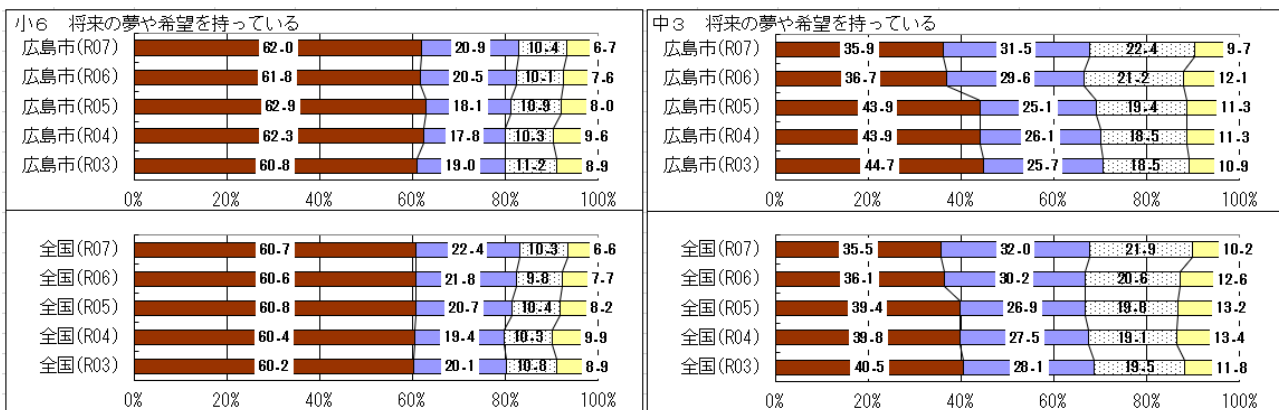
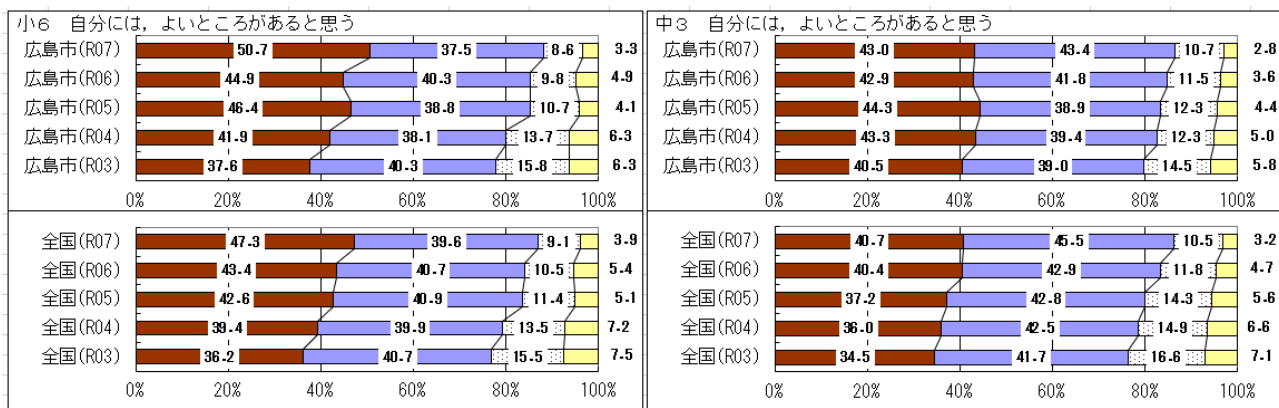
○ 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した児童生徒は、小6が約80%、中3が76%であり、全国と比較して小6は同程度、中3はやや高い。

Ⅲ 質問調査の結果と考察（児童生徒質問）



○ 「学級の友達との間〔生徒との間〕で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う」と回答した児童生徒は、小6は約86%、中3は約84%であり、全国と比較して小6はやや高く、中3は同程度である。

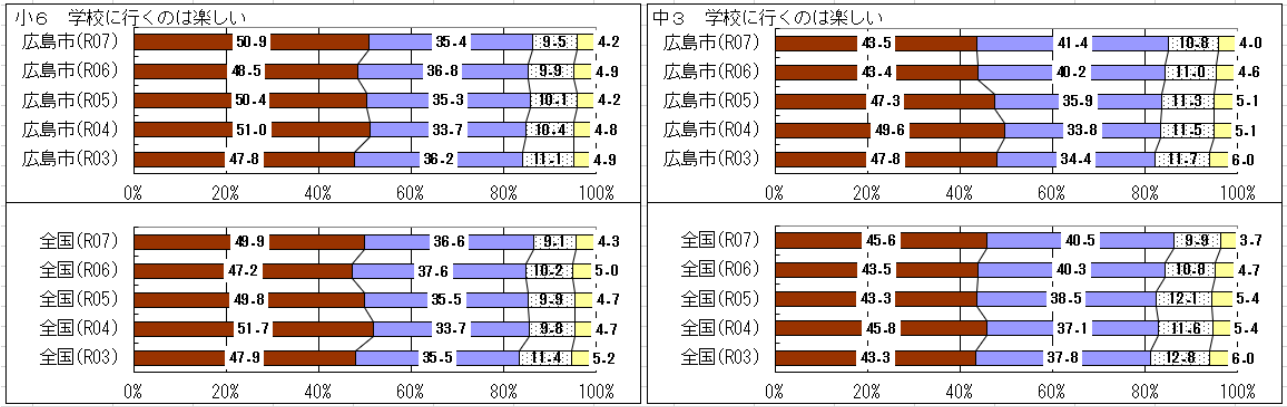
(3) 自尊意識、自己有用感等



○ 「自分には、よいところがある」と回答した児童生徒は、小6は約88%、中3は約86%であり、全国と比較して小6はやや高く、中3は同程度である。

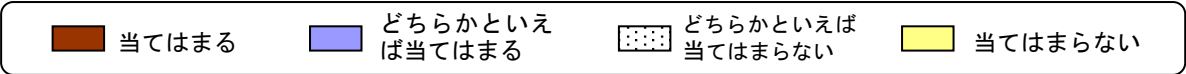
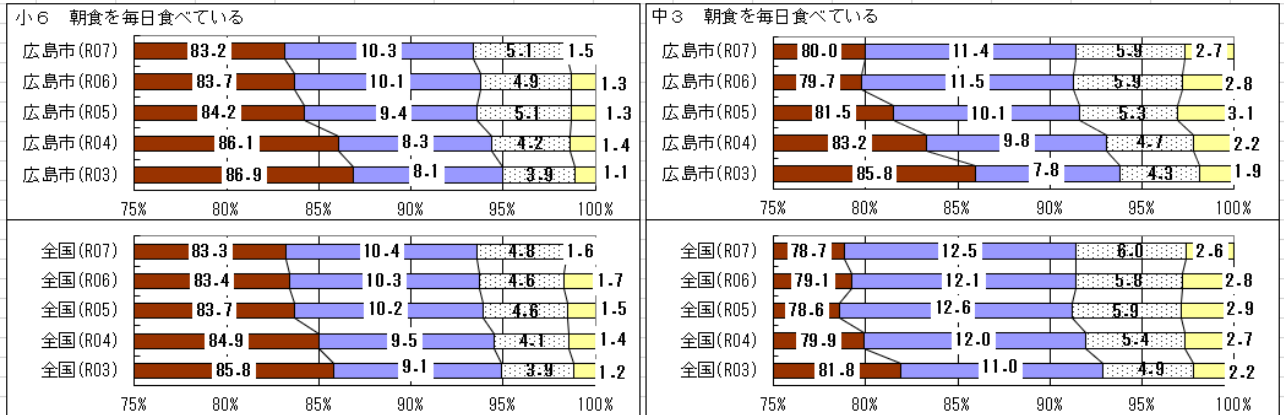
○ 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒は、小6が約83%、中3が約67%であり、全国と比較して小6、中3ともに同程度である。

Ⅲ 質問調査の結果と考察（児童生徒質問）



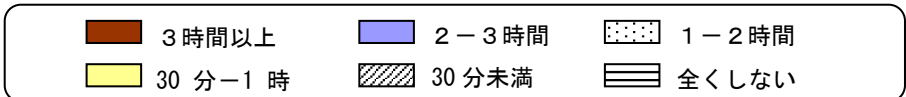
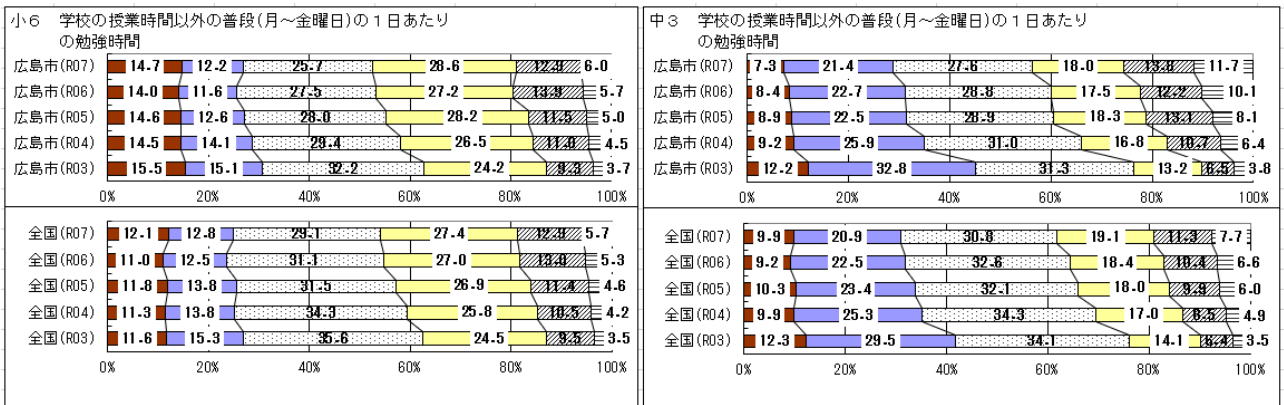
○ 「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒は、小6が約86%、中3が約85%であり、全国と比較して小6は同程度、中3はやや低い。

(4) 基本的生活習慣



○ 「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒は、小6が約94%、中3が約91%であり、全国と比較して小6、中3ともに同程度である。

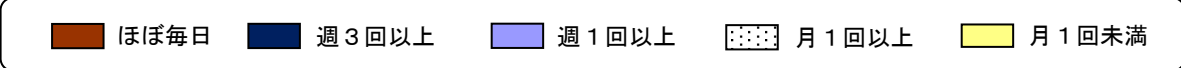
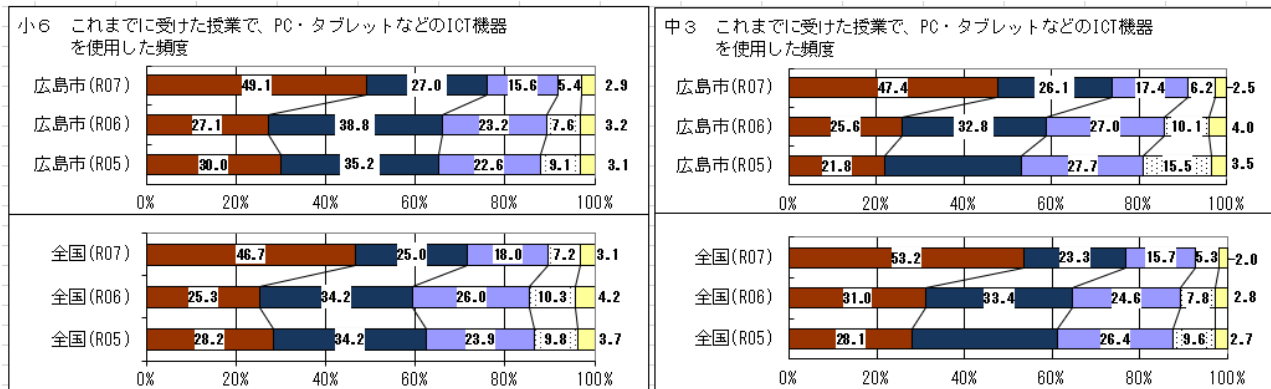
(5) 学習習慣



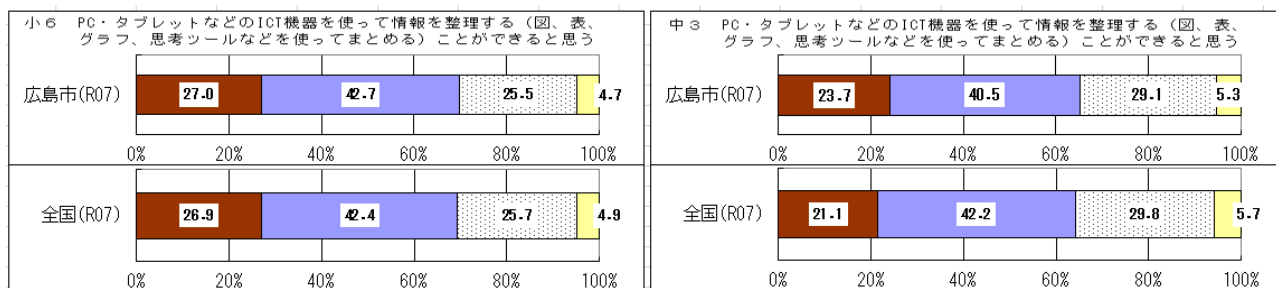
Ⅲ 質問調査の結果と考察（児童生徒質問）

○ 「普段(月～金曜日)、学校の授業時間以外に1日当たり30分以上勉強している」と回答をした児童生徒は、小6が約81%、中3が約74%であり、全国と比較して小6は同程度、中3は低い。また、「全く勉強しない」と回答した児童生徒は、小6が6%、中3が約12%であり、全国と比較して小6は同程度、中3は高い。

(6) ICT を活用した学習状況



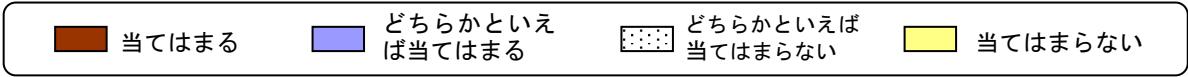
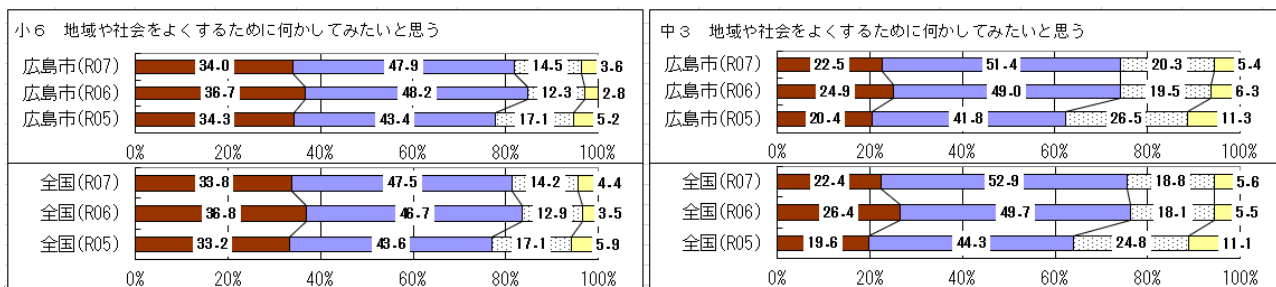
○ 「これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用している」と回答した児童生徒は、小6が約92%、中3が約91%であり、全国と比較して小6はやや高く、中3は低い。



○ 「PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思う」と回答した児童生徒は、小6が約70%、中3が約64%であり、全国と比較して小6は同程度、中3はやや高い。

Ⅲ 質問調査の結果と考察（児童生徒質問）

(7) 地域や社会への関わり

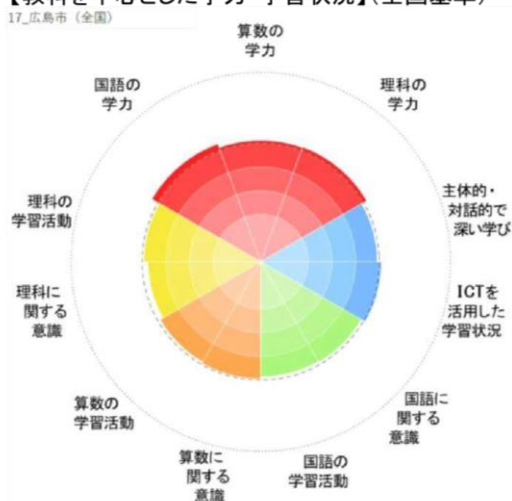


○ 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童生徒は、小6が約82%、中3が約74%であり、全国と比較して小6はやや高く、中3はやや低い。

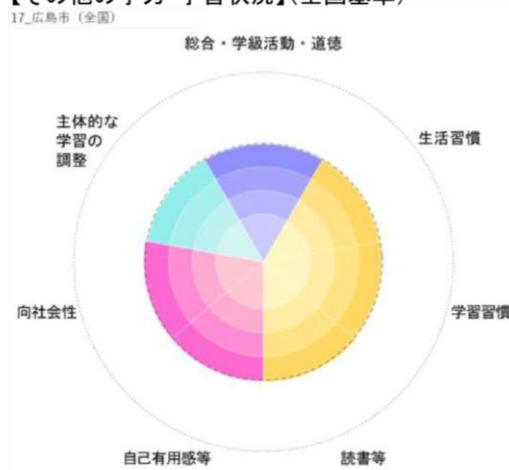
(参考) 国が示した結果チャート

【小学校】

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

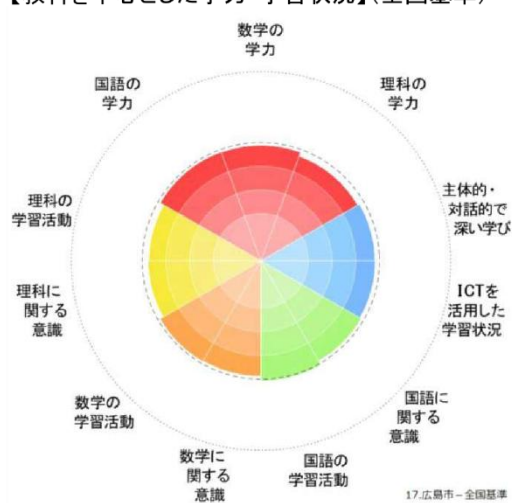


【その他の学力・学習状況】(全国基準)

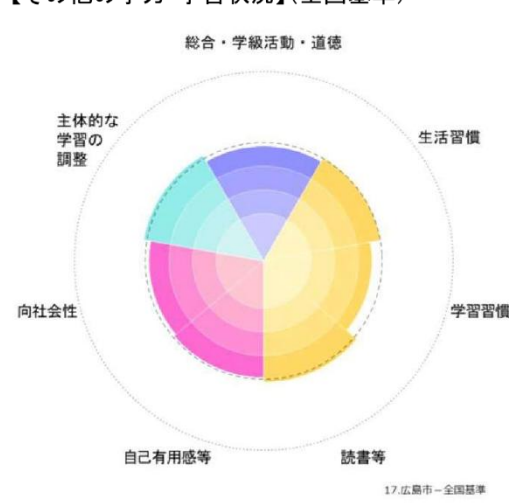


【中学校】

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



※ 点線は全国平均を示している。

※ 各領域のブロックの面積が広いほど肯定的回答が多く、狭いほど否定的回答が多い。

Ⅲ 質問調査の結果と考察（児童生徒質問）

<教科を中心とした学力・学習状況の領域名と児童（生徒）質問番号の対応一覧表>

領域番号	領域名	児童(生徒)質問 対応領域・質問番号
1	国語の学力	
2	算数(数学)の学力	
3	理科の学力	
4	主体的・対話的で深い学び	(31)～(35) (37) (39)
5	ICTを活用した学習状況	(28) (29)
6	国語に関する意識	(44) (45) (47)
7	国語の学習活動	(46) (48)～(51)
8	算数(数学)に関する意識	(52) (53) (55) (56)
9	算数(数学)の学習活動	(54) (57)～(59)
10	理科に関する意識	(60) (61) (63)～(65) 小学校
		(60) (61) (63)～(66) 中学校
11	理科の学習活動	(62) (66)～(70) 小学校
		(62) (67)～(70) 中学校

※領域番号1～3については、各教科の全国平均正答率(中学校の領域番号3については全国平均IRTスコア)を基準として比較したものである。
 ※領域番号4～11については、「小学校児童(中学校生徒)質問対応領域・項目番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

<その他の学力・学習状況(学習習慣、自己有用感等)の領域名と児童(生徒)質問番号の対応一覧表>

領域番号	領域名	児童(生徒)質問 対応領域・質問番号
12	総合・学級活動・道徳	(40)～(43)
13	生活習慣	(1)～(3)
14	学習習慣	(17) (19)
15	読書等	(21)～(24)
16	自己有用感等	(5) (6) (10) (12) (14) (15)
17	向社会性	(8) (9) (11) (27)
18	主体的な学習の調整	(16) (36)

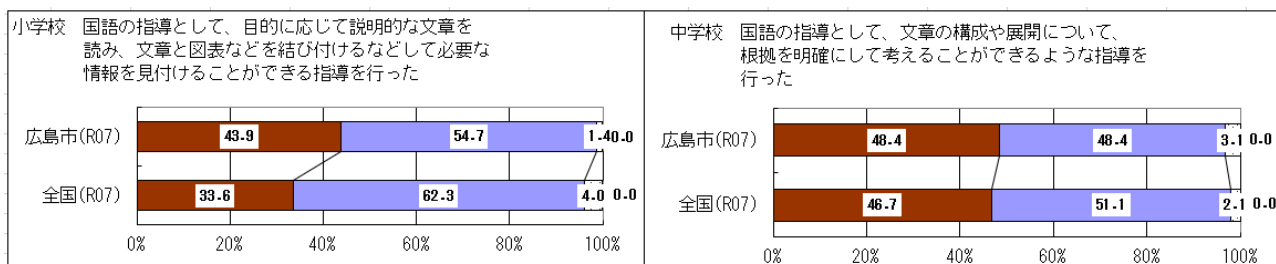
- 小学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「読書等」領域のスコアについて高い結果が出ている。また、「理科に関する意識」や「国語の学習活動」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- 中学校においては、「主体的な学習の調整」や「読書等」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「学習習慣」や「理科に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている。(うち、「学習習慣」は、全国と比較しても低い。)

2 学校質問調査

- (1) 各教科の指導方法（国語、算数・数学、理科）
- (2) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- (3) 規範意識
- (4) 家庭学習
- (5) ICT機器を活用した学習状況
- (6) 小中連携
- (7) 全国学力・学習状況調査の活用

(1) 各教科の指導方法

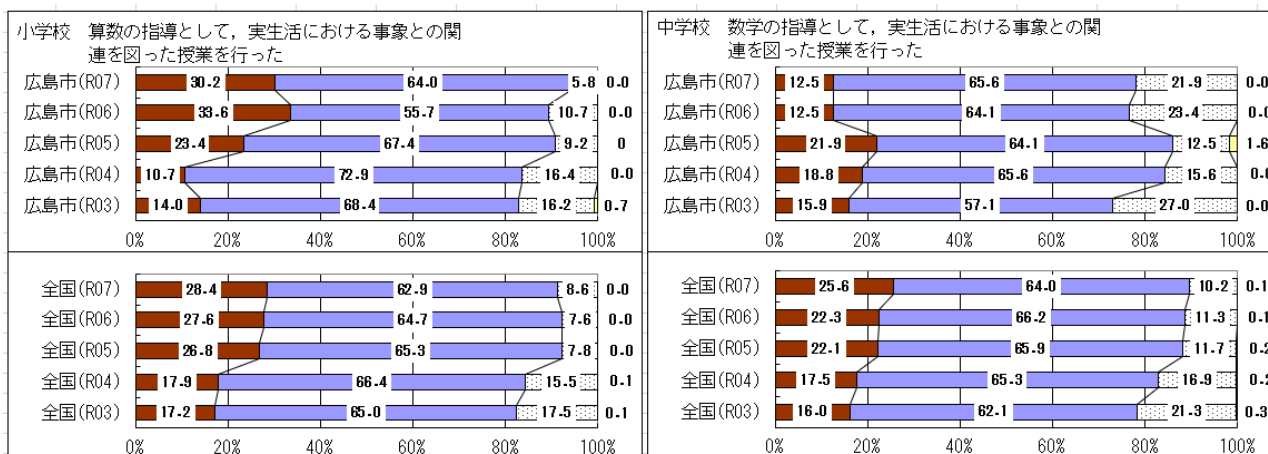
【国語】



よく行った
 どちらかといえば、行った
 あまり行っていない
 行っていない

- 「国語の指導として、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる指導を行った」と回答した小学校が約99%であり、全国と比較してやや高い。
- 「国語の指導として、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるような指導を行った」と回答した中学校が約97%であり、全国と比較してやや低い。

【算数・数学】

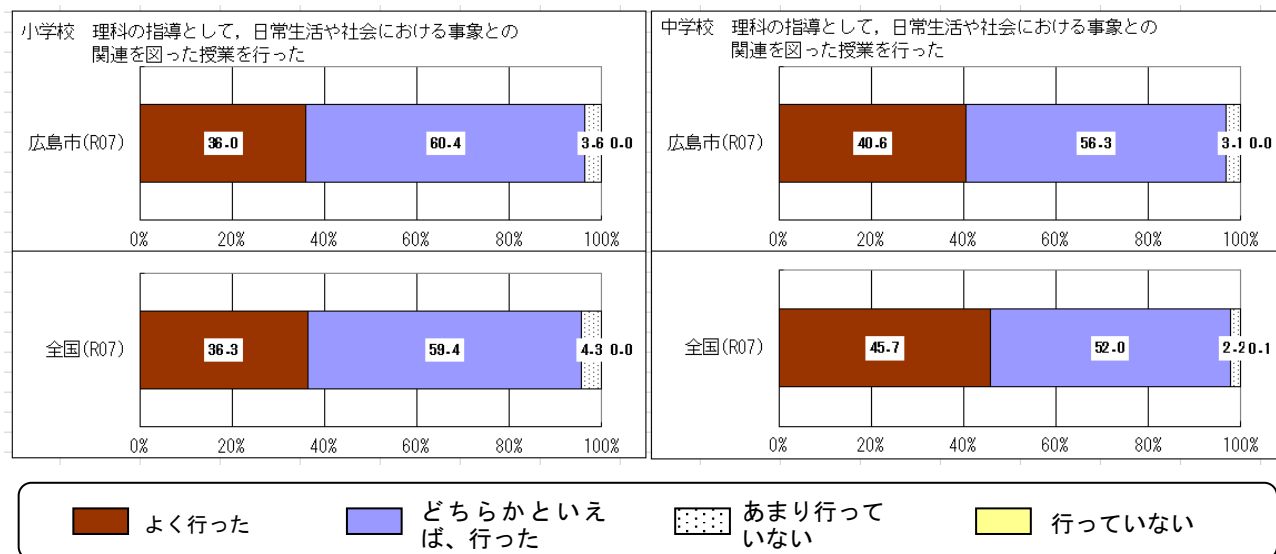


よく行った
 どちらかといえば、行った
 あまり行っていない
 行っていない

- 「算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校は、小学校で約94%、中学校で約78%であり、全国と比較して小学校はやや高く、中学校は低い。

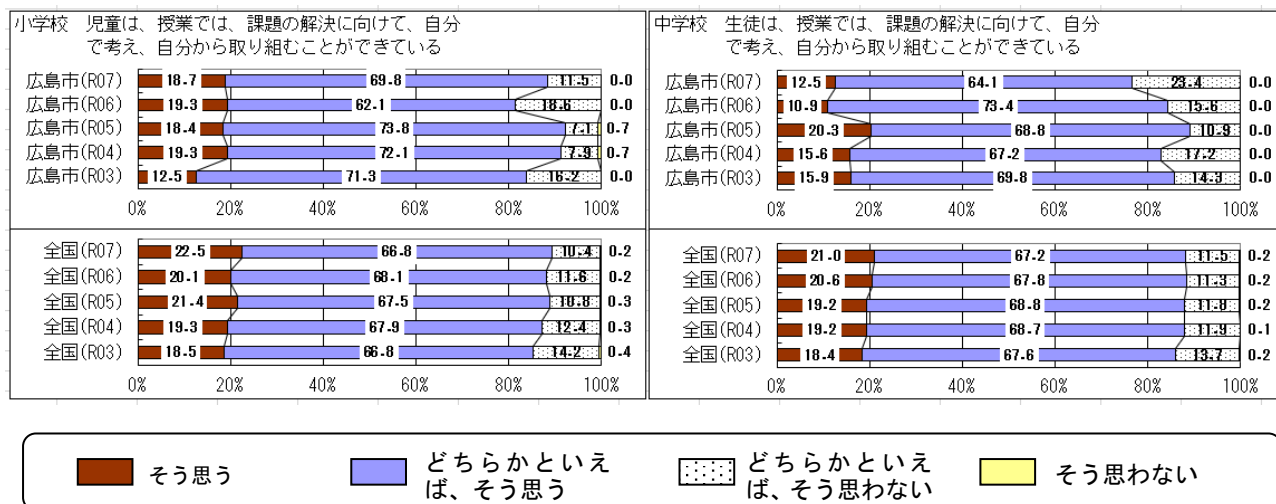
Ⅲ 質問紙調査の結果と考察（学校質問）

【理科】

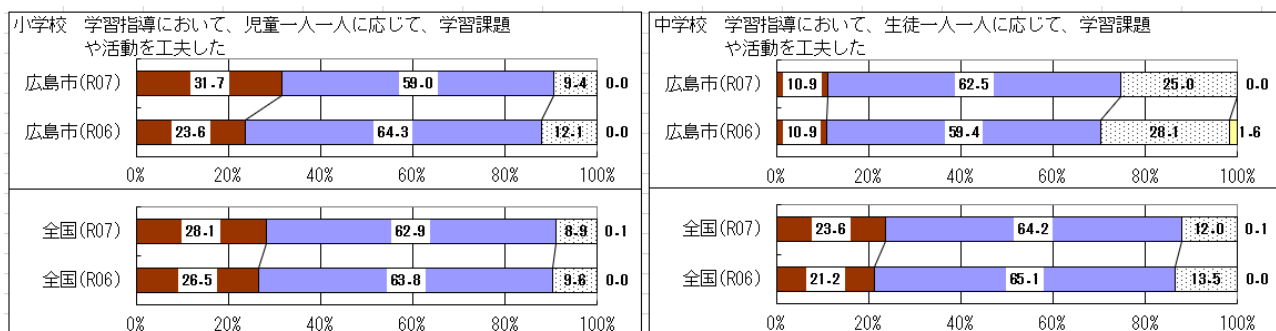


○ 「理科の指導として、日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校は、小学校で約96%、中学校で約97%であり、全国と比較して小学校はやや高く、中学校はやや低い。

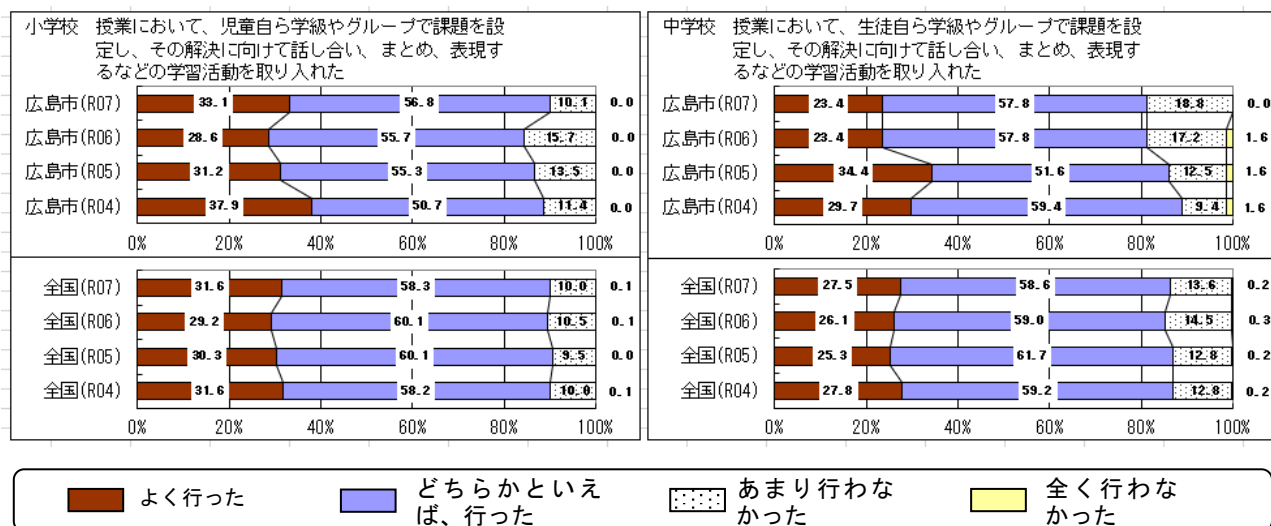
(2) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況



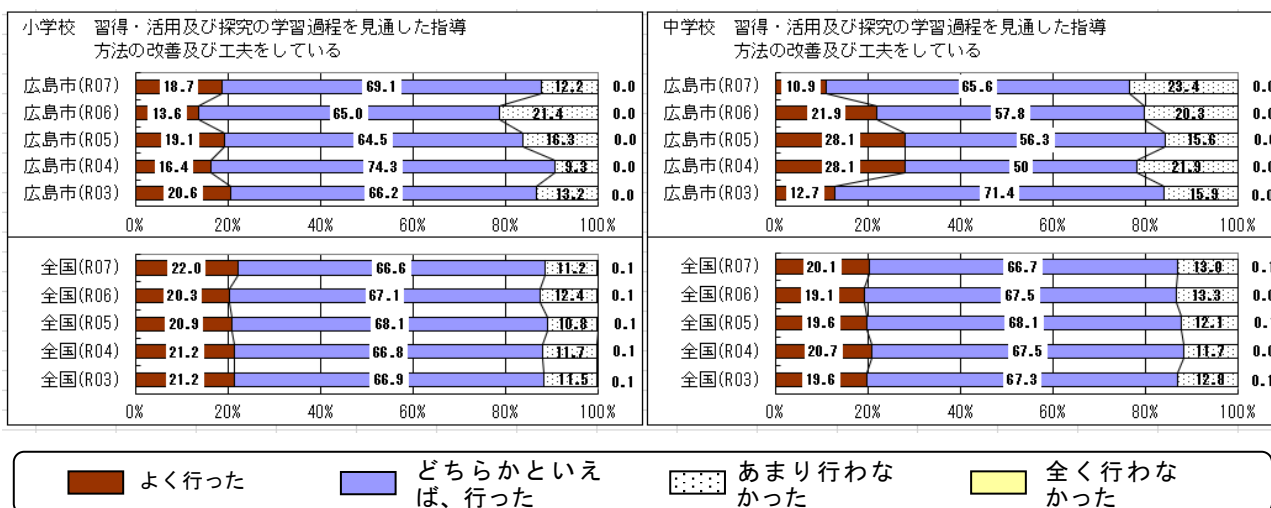
○ 「児童（生徒）は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる」と回答した学校は、小学校で約89%、中学校で約77%であり、全国と比較して小学校はやや低く、中学校は低い。



Ⅲ 質問紙調査の結果と考察（学校質問）



- 「学習指導において、児童（生徒）一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫した」と回答した学校は、小学校で約91%、中学校で約73%であり、全国と比較して小学校は同程度、中学校は低い。
- 「授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」と回答した学校は、小学校で約90%、中学校で約81%であり、全国と比較して小学校は同程度、中学校は低い。

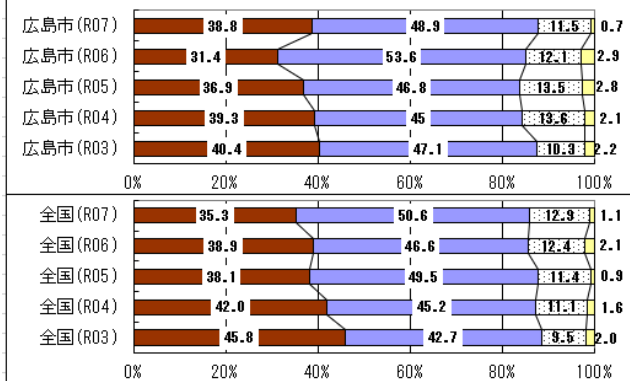


- 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている」と回答した学校は、小学校で約88%、中学校で約77%であり、全国と比較して小学校はやや低く、中学校は低い。

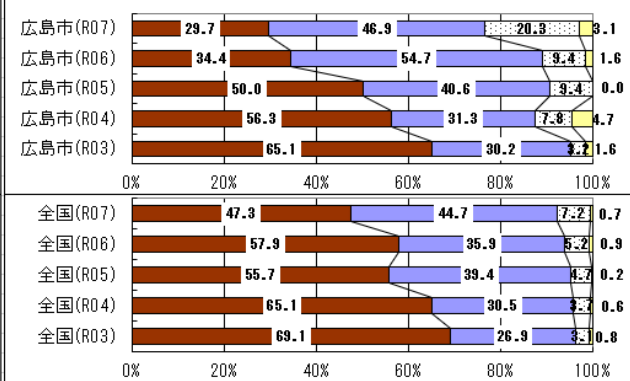
Ⅲ 質問紙調査の結果と考察（学校質問）

(3) 規範意識

小学校 授業中の私語が少なく、落ち着いている



中学校 授業中の私語が少なく、落ち着いている

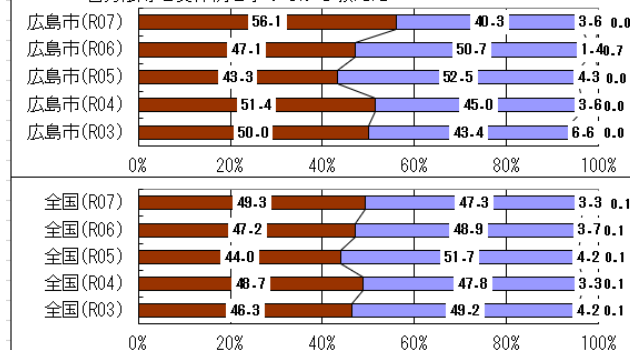


そう思う
 どちらかといえば、そう思う
 どちらかといえば、そう思わない
 そう思わない

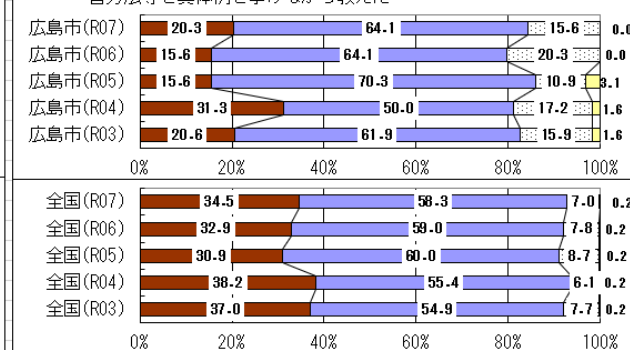
○ 「授業中の私語が少なく、落ち着いている」と回答した学校は、小学校が約88%、中学校が約77%であり、全国と比較して小学校はやや高く、中学校は低い。

(4) 家庭学習

小学校 児童に対して、家庭学習の取組として、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた



中学校 生徒に対して、家庭学習の取組として、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた

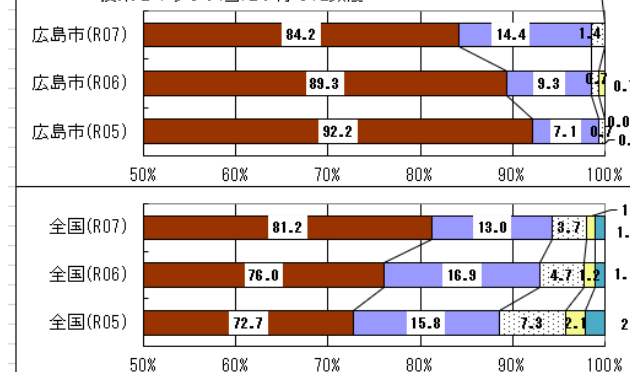


よく行った
 どちらかといえば、行った
 あまり行わなかった
 全く行わなかった

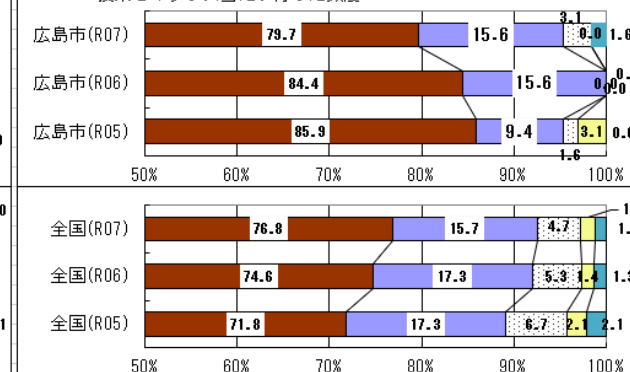
○ 「家庭学習の取組として、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた」と回答した学校は、小学校で約96%、中学校で約84%であり、全国と比較して小学校は同程度、中学校は低い。

(5) ICT機器を活用した学習状況

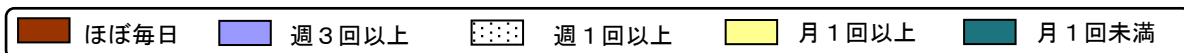
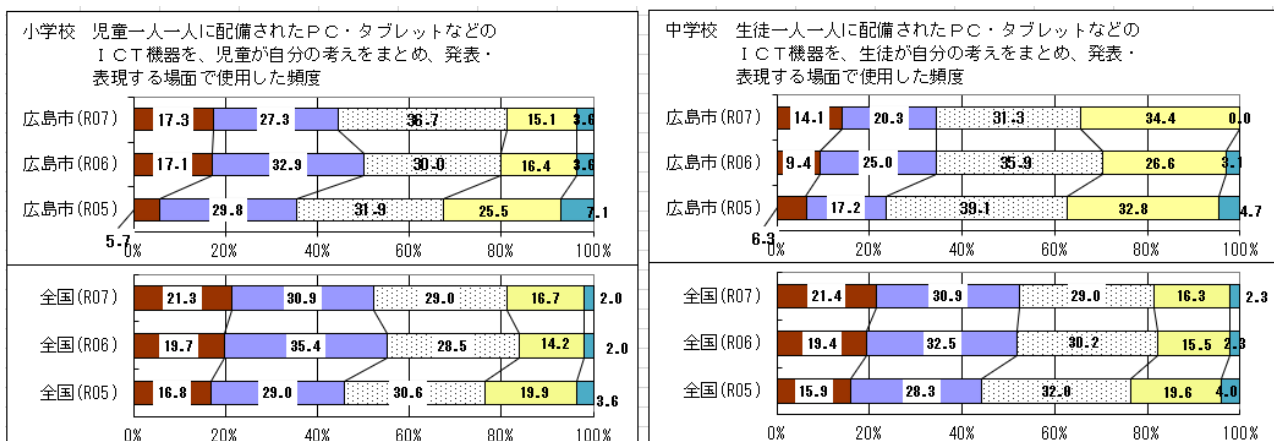
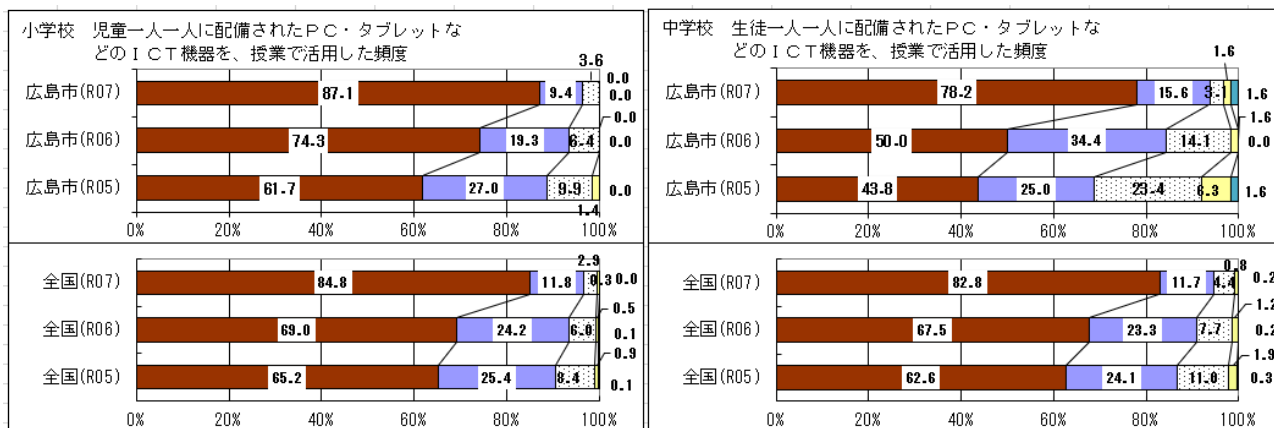
小学校 教員が大型提示装置などのICT機器を活用した授業を1クラス当たり行った頻度



中学校 教員が大型提示装置などのICT機器を活用した授業を1クラス当たり行った頻度

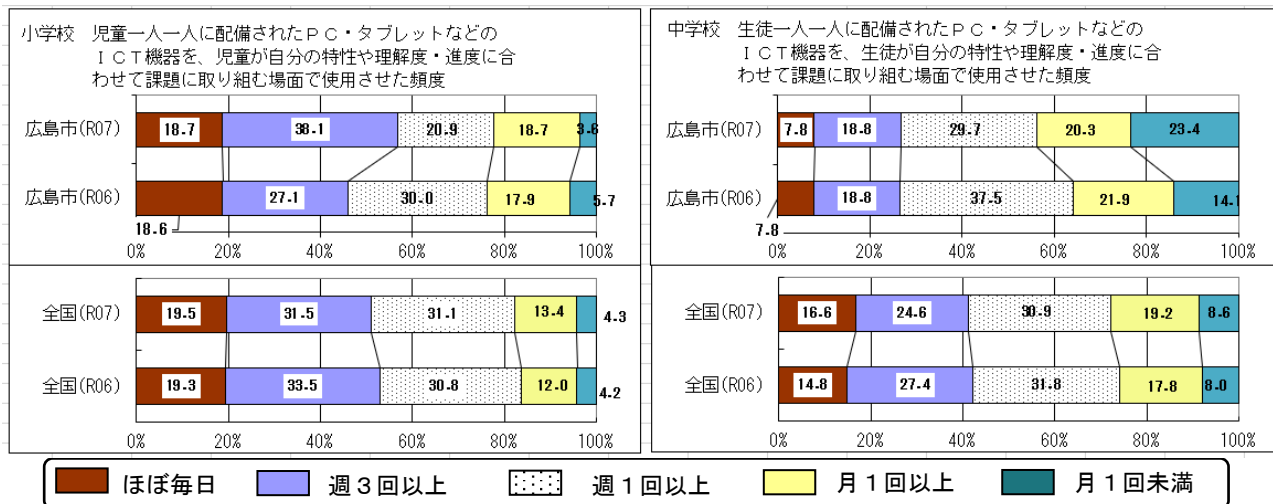


Ⅲ 質問紙調査の結果と考察（学校質問）

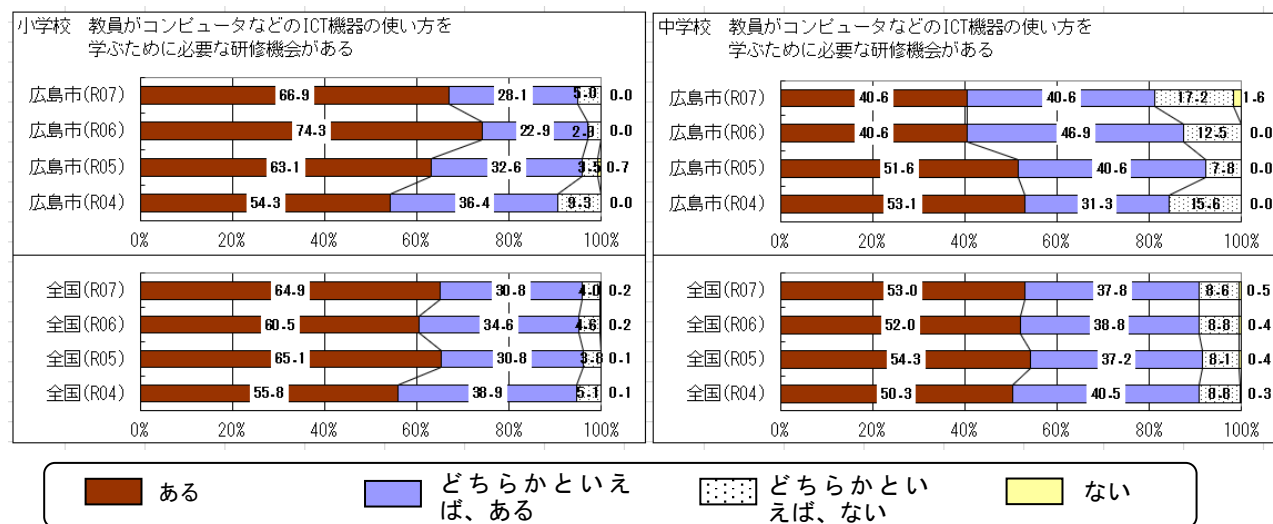


- 「教員が大型提示装置などのICT機器を活用した授業を1クラス当たり週1回以上行った」と回答した学校は、小学校で100%、中学校で98%であり、全国と比較して小学校、中学校ともやや高い。
- 「児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業で週1回以上活用した」と回答した学校は、小学校で100%、中学校で約97%であり、全国と比較して小学校は同程度、中学校はやや低い。
- 「児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、児童（生徒）が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で週1回以上活用した」と回答した学校は、小学校で約81%、中学校で約66%であり、全国と比較して小学校は同程度、中学校は低い。

Ⅲ 質問紙調査の結果と考察（学校質問）

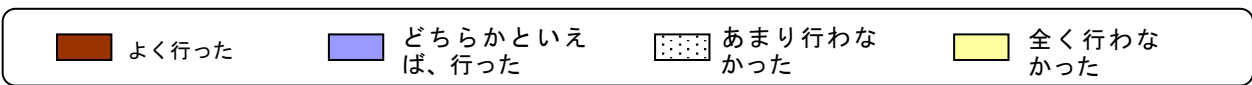
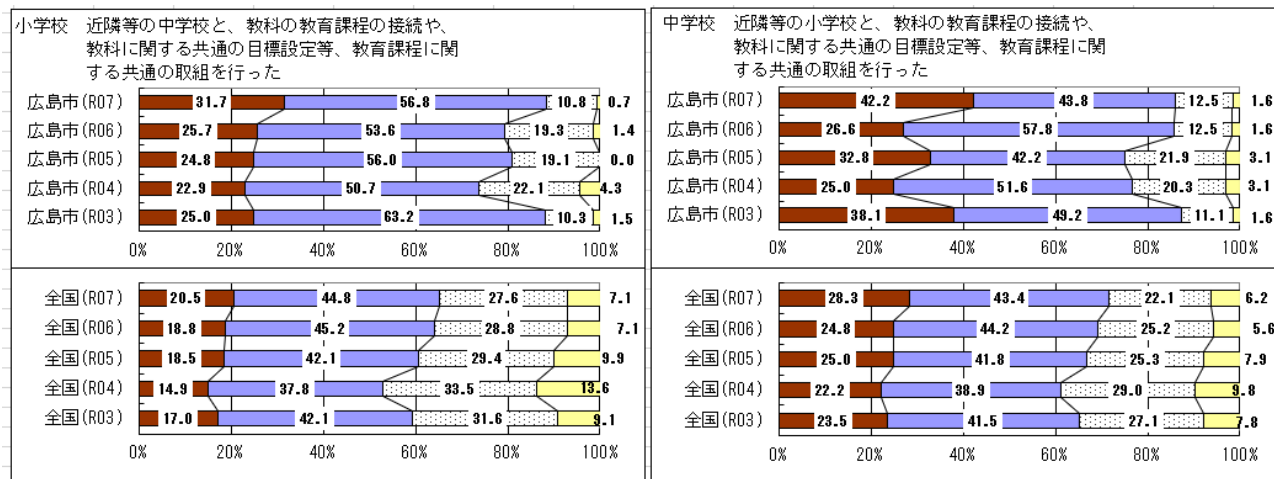


○ 「児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、児童（生徒）が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面で週1回以上活用した」と回答した学校は、小学校で約78%、中学校で約56%であり、全国と比較して小学校、中学校ともに低い。



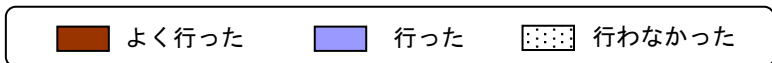
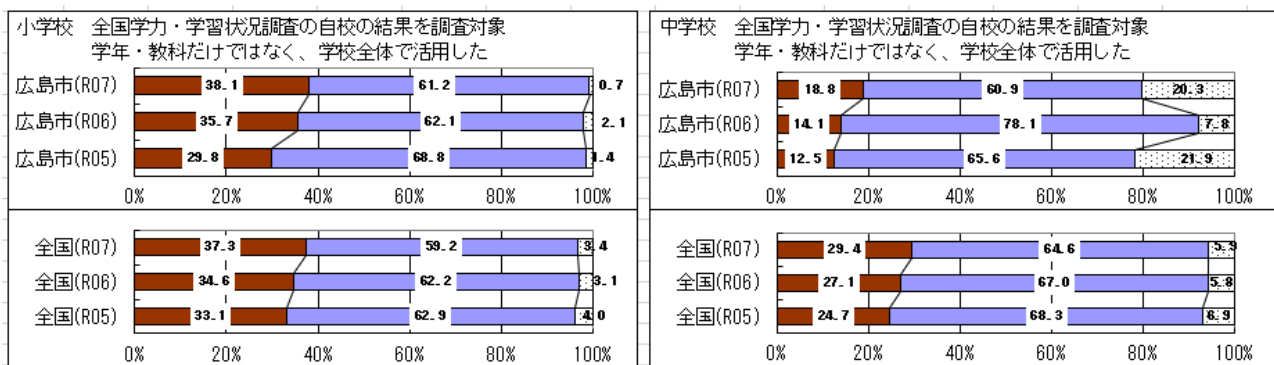
○ 「教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がある」と回答した学校は、小学校で約95%、中学校で約81%であり、全国と比較して小学校はやや低く、中学校は低い。

(6) 小中連携



○ 「近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った」と回答した学校は、小学校で約89%、中学校で86%であり、全国と比較して小学校、中学校ともに高い。

(7) 全国学力・学習状況調査の活用



○ 「全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で活用した」と回答した学校は、小学校で約99%、中学校で約80%であり、全国と比較して小学校はやや高く、中学校は低い。